

公益社団法人新潟県栄養士会 2022 年度第 3 回理事会 議事録

1 日 時

2022 年 7 月 23 日（土） 午後 1 時から午後 4 時 30 分まで

2 開催場所

新潟ユニゾンプラザ 2 階 女性団体交流室 2

3 理事数に対する出席理事の数

25 名中 23 名出席 本日の理事会は定足数を満たしている

4 理事の出欠について

折居 千恵子	○	石澤 幸江	○	渡邊 修子	○	柄沢 弘子	○	北林 紘	○
鈴木 敏美	○	長谷川 美代	○	山田 祥子	○	近藤さつき	○	久志田 順子	○
星野 侑子	×	熊倉 利江	○	津軽 智子	○	青木 章子	○	佐藤 峰生	×
村山 真由美	○	梶谷 友美	○	本間 信子	○	小川 佳子	○	山川 琴栄	○
江口 公子	○	小林 昌子	○	久保 尚子	○	渡辺絵里子	○	村山 稔子	○

5 その他関係者の出席

小島 美世 (健康づくり支援 課課)	○	稲村 雪子 (顧問)	×	入山 八江 (顧問)	○	角谷ヒロ子 (監事)	○	大平 真由美 (監事)	○
近藤 奏江 (三条支部代理)	○	酒井 常子 (魚沼支部代理)	○	阿部 幸子 (事務局長)	○				

6 開会

折居会長挨拶

7 新潟県からの情報提供

新潟県福祉保健部健康づくり支援課

健康立県推進班 政策企画員 小島美世氏

「健康立県プロモーション事業

～令和 3 年度の取り組み報告及び今年度の取り組み～

8 自己紹介

9 議長選出

○理事会運営規則第6条第1項に則り、理事会の議長は会長が務める。

10 議事

(1) 協議事項

①2022・2023年度組織図（案）について（資料P2）

○折居会長より説明があった。

今までと概ね同じであるが、変更点は栄養ケア・ステーション部を今年度より学術部、事業部、広報・情報部、研修部と同じ位置づけにし、5つの業務執行部より運営される形として提案する。

○2022・2023年度組織図について承認された。

②2022・2023年度業務執行部人事（案）について（資料P3）

○折居会長より説明があった。

・業務執行部の部長・副部長人事について提案

学術部長 長谷川美代 同副部長 北林 紘

事業部長 小林昌子 同副部長 鈴木敏美

広報・情報部長 山川琴栄 同副部長 津軽智子

研修部長 村山稔子 同副部長 江口公子

栄養ケア・ステーション部長

久志田順子 同副部長 山田祥子

・研修部については各職域より参加してもらうため、3名の理事が他部と兼任していただくこととなった。

・各部には副会長・専務理事がオブザーバーとして参加する。

・地域包括ケアシステムについては石澤副会長に担当してもらう。

○業務執行部人事について承認された。

③各業務執行部の業務内容について（資料P4～8）

○柄沢専務理事が説明した。

・学術部 新潟栄養・食生活学会開催に向けての検討

・学会誌の投稿規程の作成

・学会誌の投稿者への依頼等

・事業部 災害対策活動に関する事業

次年度の公益事業の計画及び予算案の見直し

・広報情報部

ホームページの充実

規約の作成

機関紙「栄養新潟」の作成

- ・研修部 新人研修会の開催
栄養士研修会のテーマ及び講師の検討
次年度の生涯教育研修会の計画
- ・栄養ケア・ステーション部
新潟県在宅医療（栄養）推進事業
認定栄養ケア・ステーションに関する事業
低栄養予防事業
CKD 重症化予防事業
栄養成分表示に関すること
人材派遣紹介

○各業務執行部の業務内容について承認された。

④災害対策委員会について（資料 P9）

○石澤副会長が説明した。

新潟県栄養士会の非常事態における組織図の作成、連絡網整備、非常事態マニュアルの見直し、スタッフ研修を行うための災害対策委員会を設置し、構成メンバーの承認を頂きたい。

構成メンバー

小林昌子事業部長、鈴木敏美事業部副部長、石澤幸江副会長、柄沢弘子専務理事
JDA-DAT リーダーより土田直美、清田優理香、大平真由美、中江啓太、渡邊瞳
以上 9 名とする

○災害対策委員会の構成メンバー 9 名が承認された。

⑤同時封入廃止による今後の対応について（資料 P10～16）

○阿部事務局長より説明があった。

日栄からの「日本栄養士会雑誌」送付の際の同時封入が 6 月より全て停止となり、県栄から発信される事務局だより、生涯教育案内関連、栄養士研修会案内、総会資料、機関紙「栄養新潟」が安価に会員のもとに送付できなくなった。

その対応として

事務局だより、生涯教育関連、栄養士研修会関連・・・

ホームページに掲載。掲載の際に各職域事業部より掲載された旨を伝えるメール送信を行う。

機関紙「栄養新潟」・・・

機関紙の作成をやめ、ホームページに掲載するという方法も今後の ICT 活用という社会の流れの中で検討していくこととし、今年度は従来どおり作成し郵送をする。

総会資料・・・

来年度のこととなるが、委任状の回収を考慮すると今年度同様郵送で会員へ送付することとする。但し今後、ホームページに総会資料を掲載していく方法も検討を進める。

以上が今年度の県栄からの情報提供の方法となるが、全会員に同時封入による情報提供ができなくなったこと、それに伴いホームページによる情報発信が主流となることを説明し、

パソコン、スマートフォンを所持しておらず、ホームページからの情報収集ができない会員については申し出があれば郵送する旨を伝える。

各事業部においては連絡網の体制づくり、メールアドレスの登録、迷惑メールに入っていないかの確認作業を行ってもらう。

北林理事 郵送を続けた場合の試算にある 140 万は今後ペイできる見通しはあるか？
栄養新潟、総会資料の郵送を行うことは赤字にならないか？

阿部事務局長 今年度は何とか支出できると思われるが、今後会員が減少している中で郵送を続けることはできない。

北林理事 今後、今の体制を維持するには会費の値上げもありうることで会員のデメリットが生じることを説明し会員理解してもらおうといいのでは。
総会資料は、日栄のように PDF にして HP に上げてもいいと思う。
栄養新潟は配布もいいが配布+Hp に載せるのも併せていいのではないか。

近藤理事 メールで案内するよりもユーチューブ フェイスブックで連絡してもらおうといい。
どのような手段であれば対応できるか会員にアンケートを取ったらどうか。

久志田理事 県栄の対応で良いと思うが、社会的は今ペーパーレスに向かって動いているので、県栄の方法を段階的に進めながらもペーパーレスに向かっていくべきではないか。

○同時封入停止による今後の対応について事務局だより、研修会案内はホームページで対応する。

総会資料、栄養新潟について従来通り作成し郵送する事務局案が承認された。

併せて全会員にこの旨周知を願う説明を郵送で送り、各理事からの提案を参考に丁寧な対応を行っていく。

⑥定時総会における発言通告書について（資料 P17～21）

「会費について」阿部事務局長、「支部再編について」折居会長、「在宅医療（栄養）推進事業について」久志田栄養ケア・ステーション部長、その他の提案について渡邊副会長より回答があった。

○定時総会における発言通告書の回答についてすべて承認された。

ホームページに回答は報告する。

（2）報告事項

①2022 年度会員数について（資料 P22）

○阿部事務局長が報告した。

会員数は 2021 年度 1258 名、2022 年度 6 月 30 日現在 1186 名、72 名の減少となっている。

未納者が 55 名いる。会員管理には未納者のリストも併せて送付しているが、支部・職域において研修、事業を行う際、参加する会員は会費を払っている方が対象となるため確認をしてほしい。

②2022 年度補助事業、委託事業について（資料 P23～26）

○在宅訪問栄養食事相談事業について角谷スーパーバイザーが報告した。

低栄養、フレイル状態の後期高齢者医療制度の被保険者の居宅を訪問し栄養指導を行う。
今年度は 29 名の管理栄養士が対象者 100 名程度に行う予定。

○在宅医療（栄養）推進事業について久志田栄養ケア・ステーション部長が報告した。

地域包括ケアシステムにおける栄養ケアの推進を目的に今年度 10 年目の補助事業となる。

地域の他団体（郡市医師会・歯科医師会）と連携を進める。モデル訪問栄養指導を行う。
人材育成研修会、栄養ケア研修会、訪問症例検討会、地域事業検討会、福祉施設における栄養ケア推進を進めていく。

○長岡 CKD・糖尿病性腎症等栄養指導事業について熊倉長岡支部長が報告した。

長岡市からの 7 年目の委託事業である。

今年度は延べ 300 名の方を対象に栄養相談会を行う予定。

③あつまれえいようしの森について（資料 P27）

○阿部事務局長が報告した。

7 月は Zoom 操作について新支部・職域部長、役員を対象に行った。今後も Zoom についての要望があれば開催する。

さらに腎臓病専門管理栄養士を目指す方を対象に行う予定。

詳細は後日案内する。

④2022 年度生涯教育実務研修会申込状況について（資料 P28）

○阿部事務局長が報告した。

⑤新潟栄養・食生活会について（資料 P29）

○柄沢専務理事が報告した。

会員数は現在 94 名。今年度も発表会は行わず、学会誌の発行のみとする。

また 2023 年 1 月に特別講演をオンデマンド配信する予定。

講師・テーマの要望を 8 月末まで受け付ける。

○長谷川学術部長より学会誌投稿者の推薦をお願いしたいと申し出があった。

⑥令和 4 年度健康づくり功労者県知事表彰について（資料 P30～31）

○石澤副会長が報告した。

令和 4 年度は食生活改善事業功労者に当会会員齋藤トシ子氏を推薦する。

11 議事終了あいさつ（石澤副会長）

上記の議事録に相違ないことを証するため、記名、押印する。

2022年 7月 28日

出席代表理事 印

出席代表理事 印

出席代表理事 印

出席監事 印

出席監事 印

議事録作成者 事務局長 阿部 幸子